姫路城圖

明治維新前
酒井家所領時代

一城地　内曲輪東西四丁拾六間南北五町壹間間拾六丁弐拾弐間餘
城總廻壹里半

一天守閣　高二石垣共弐拾四間餘内石垣之間餘建物拾間半平地ゟ
糸拾九間餘
外面五層にして内部七層となる最上東西南北壹間廣下
東西拾壹間南北拾壹間疊數總計を千七拾弐畳

姫路城主略表

正平元年	博労	赤松貞範	
嘉吉元年		山名宗全	
應仁元年		赤松政則	
大明元年		小寺豊職	
天正八年	築城	羽柴秀吉	天正十年
天正十三年		木下家定	
慶長五年	改築	池田輝政	
元和三年	増営	本多忠政	
寛永十年		松平(奥平)忠明	
慶安元年		松平(奥平)忠弘	
寛文七年		松平(奥平)直矩	
天和元年		本多政武	
寛永七年		榊原政岑	
寛保二年		松平(奥平)基知	
寛延三年		酒井忠恭	

以後世々酒井氏在城
明治維新に至る

禁転載　姫路市立城郭研究室